

2006年6月15日

## **社会貢献事業「サンゴ礁保全プロジェクト」海外展開について**

三菱商事は、今年度から「サンゴ礁保全プロジェクト」を米州・欧州アフリカ地域でも本格展開していきます。

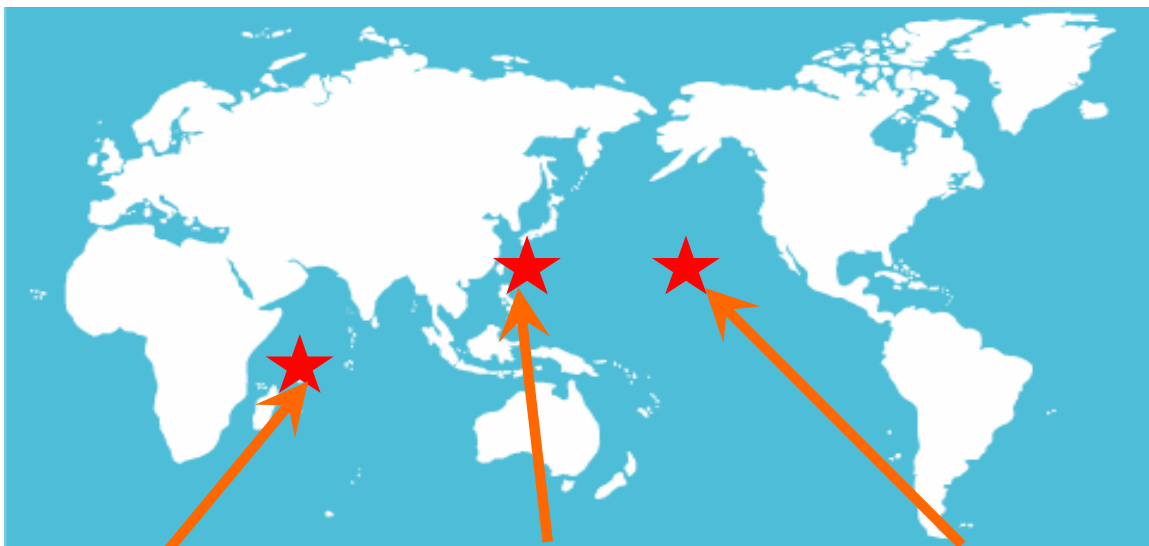
米州では、カリフォルニア大学サンタクルーズ校のドナルド・ポッツ教授の指導の下、米国ミッドウェイ諸島 ミッドウェイ環礁国立自然保護区で研究活動を実施します。この研究では気候変動がサンゴ礁に与える物理的・化学的・生物的な影響についての統合的な調査プログラムの策定や、サンゴ礁の管理を長期継続するための知見集積を行います。

欧州アフリカでは、環境NGOアースウォッチ・ヨーロッパ、英国エセックス大学サンゴ礁研究ユニット、セーシェル自然保護財団と共に研究活動を実施します。この研究ではサンゴ礁の周辺環境のデータ収集を行い、地域におけるサンゴ礁保全が推進される仕組み作りを行います。

本プロジェクトは、第二次大戦後の大合同による新生三菱商事の誕生から50周年にあたる2004年度に企画され、2005年度に静岡大学 鈴木款（よしみ）教授の指導の下、沖縄県でサンゴの白化防止及び回復技術の確立を目的として研究活動を開始しました。この活動は本年度も引き続き実施されます。

本プロジェクトの研究成果は、広く世界各地で活用して頂ける様、ウェブサイトや雑誌などで発表すると同時に、セミナーの開催などを通じて、定期的に公表していきます。また、研究者の活動をサポートするボランティアを社内外から募り、研究活動への参加を通じて、環境問題についてご理解を深めて頂くためのプログラムも実施致します。

以上



セーシェル共和国

日本 / 沖縄県国頭郡本部

米国 / 北西ハワイ諸島ミッドウェイ環礁